

## 援助の内容

### 保護者に対して

- 家庭訪問や声かけで、保護者の孤立を防ぐ
- 保護者の苦労を理解する（ただし保護者を正当化するのは別問題）
- 保護者の努力を認め、ほめる
- 保護者の不満やグチを受け止める
- 各種支援制度・サービスを紹介する
- 子どもの一時預かりなどで子育てを休憩させる
- 子育ての相談に応じる
- 離乳食教室などで保護者の養育力を高める など

### 子どもに対して

- 子どもの言葉を信じ、安心させる
- 虐待は子どもが悪いわけではないことを伝える
- 約束を守る（「誰にも言わない」は守れないでの、「必要な人には話す」ことを説明するなどし、非現実的な約束はしない） など

## ⑤早期発見のポイント

起こってしまった虐待は、できるだけ早く発見し対応することが重要です。

子どもや保護者の日常の様子から、虐待を発見することができます。子どもから出されるSOSのサインは弱く、間接的であったりするので、見落とすことがないよう日頃から虐待に关心を持つておく必要があります。以下のポイントを参考に、特に注意すべき項目や複数の項目にチェックがある場合は、虐待の可能性があると考えてください。

### 地域社会で

#### 子どもの様子

- 不自然な傷・アザ・やけどなどがある
- 身体や衣服が不潔である
- 語りかけても表情の変化に乏しい、反応が少ない
- 家族のことや身体の傷などについての説明が不自然、説明内容がよく変わる
- いつもお腹を空かせている
- 不自然な時間に徘徊している
- 家に帰りたがらない
- 性的なことに過度に反応する
- 万引きなど、非行行為を繰り返す（単独で行う場合も多い）

**保護者・家庭の様子**

- 虐待行為そのものが目撃される(保護者は「しつけ」と言うこともある)
- 虐待行為が疑われる音を聞く(泣き声、叫び声、どなり声、たたく音など)
- 表情が固い、子どもへの語りかけをしない
- 地域の中で孤立しており、他人の話に耳を貸さない
- 家の中や周囲が乱雑で汚れている
- 子どもがケガや病気をしても病院へ連れて行かない
- 小さな子どもを置いたまま外出することが多い
- きょうだいや他の子どもと比較することが多い
- 子どもの存在を否定する発言がある(「産みたくないかった」など)

**子どもの様子****保護者の様子****保育園・幼稚園で**

- 不自然な傷・アザ・やけどなどがある
- 家で傷を作つて登園することが多い
- 特別な病気がないのに身長・体重の増加が悪い
- 身体や衣服が不潔なまま登園する
- おむつや衣服が換えられていない、お尻がただれています
- 語りかけても表情の変化に乏しい、反応が少ない
- お迎えに来た保護者におびえる
- 保護者がお迎えに来ても帰りましたがらない
- 家族のことや身体の傷などについての説明が不自然、説明内容がよく変わる
- 周りの大人を挑発したり試そうとしたりする
- 周りに乱暴・攻撃的な発言・行動を繰り返す
- 基本的な生活習慣が身についていない
- 給食をガツガツ食べる、おかわりを繰り返す
- 性的なものに異常な興味を示す、性的な遊びをする
  
- 子どもの傷などに不自然な説明をする
- 子どもを乱暴に扱う
- 子どもがケガや病気をしても病院に連れて行かない
- 健康診査や予防接種を受けさせていない、母子健康手帳の記入が極端に少ない
- 子どもの様子に关心を持たない
- 理由がないのに園の行事に参加したがらない
- 子どもの忘れ物が多い、必要なものを持ってこさせない
- きょうだいや他の子どもと比較することが多い
- 子どもの存在を否定する発言がある(「産みたくないかった」など)

## 学校で

### 子どもの様子

- 不自然な傷・アザ・やけどなどがある
- 家で傷を作つて登校することが多い
- 特別な病気がないのに身長・体重の増加が悪い
- 身体や衣服が不潔なまま登校する
- 理由がはっきりしない欠席や遅刻が多い
- 家出を繰り返す
- 落ち着きがない、授業に集中できない
- 急に学力が低下する
- 家族のことや身体の傷などについての説明が不自然、説明内容がよく変わる
- ウソをつくことが多い
- 周りの大人を挑発したり試そうとしたりする
- 周りに乱暴・攻撃的な発言・行動を繰り返す
- 他の子になじめない、身勝手な行動ばかりする
- 自傷行為や自虐的な発言をする
- 基本的な生活習慣が身についていない
- 給食をガツガツ食べる、おかわりを繰り返す
- 年齢に不相応な性的言動がある
- 衣服を脱ぐことを恐れる
- 万引きなど、非行行為を繰り返す(単独で行う場合も多い)

### 保護者の様子

- 子どもを乱暴に扱う
- 子どもの様子に关心を持たない
- 理由がないのに学校の行事に参加したがらない
- 教師との面接・面談を拒む
- 子どもの忘れ物が多い、必要なものを持ってこさせない
- きょうだいや他の子どもと比較することが多い
- 子どもの存在を否定する発言がある(「産みたくないかった」など)

## 医療機関で

### 注意すべき子どもの所見

### 保護者の様子

#### ● 全身

- 病気に関係ない低身長・低体重・低栄養
- 何度も繰り返す事故
- 内臓出血

#### ● 皮膚・骨

- 不自然な傷・アザ・やけど・骨折
- 新旧混在する傷・アザ・やけど・骨折
- 皮下出血を伴う頭髪の抜毛
- 放置されたまま自然治癒した骨折痕

#### ● 頭部

- 頭蓋内出血(特に硬膜下出血)
- 頭蓋骨の複雑骨折・多発骨折
- 揺さぶられっ子症候群(乳幼児を強く揺することで起こる脳の損傷)

#### ● その他

- 外傷性眼障害(眼底出血、網膜剥離、水晶体脱臼など)
- 鼓膜破裂
- 溺水(特に歩行前の乳児)
- 不自然な歯の損傷、異常に多い虫歯
- 性器・肛門周囲の外傷
- 診察に対する不自然なおびえ方

- 子どもの症状や原因についての説明が不自然、説明内容がよく変わる
- 子どもの存在を否定する発言がある(「産みたくないかった」など)
- 理由がないのに子どもを病院に連れて来る時期が遅い
- 病院を渡り歩く
- 慢性的な疾患がないのに頻繁に子どもを病院へ連れて来る

※「不自然な傷など」は、傷のある部位・傷の付き方だけでなく、子どもが傷を負った時間や子どもの行動範囲・行動能力などからも考える必要があります。